

7 地域別状況

商店数は、四日市生活創造圏が18.3%で最も多く、次いで伊勢志摩生活創造圏の17.9%、津・久居生活創造圏の14.5%となりました。

増減率でみると、すべての地域で減少し、尾鷲生活創造圏が最も減少しました。(表14、図20)

表14 生活創造圏別商店数

	平成11年		平成14年		
	商店数(店)	構成比(%)	商店数(店)	構成比(%)	増減率(%) (14年/11年)
三重県	27,567	100.0	24,769	100.0	10.1
桑名・員弁生活創造圏	2,703	9.8	2,515	10.2	7.0
四日市生活創造圏	5,136	18.6	4,535	18.3	11.7
鈴鹿・亀山生活創造圏	2,644	9.6	2,439	9.8	7.8
伊賀生活創造圏	2,422	8.8	2,191	8.8	9.5
津・久居生活創造圏	4,131	15.0	3,589	14.5	13.1
松阪・紀勢生活創造圏	3,437	12.5	3,216	13.0	6.4
伊勢志摩生活創造圏	4,989	18.1	4,434	17.9	11.1
尾鷲生活創造圏	1,145	4.2	992	4.0	13.4
熊野生活創造圏	960	3.5	858	3.5	10.6

従業者数は、四日市生活創造圏が22.3%で最も多く、次いで津・久居生活創造圏の16.1%、伊勢志摩生活創造圏の14.6%となりました。

増減率でみると、松阪・紀勢生活創造圏のみ増加しました。残りの8地域では減少し、伊勢志摩生活創造圏が最も減少しました。(表15、図20)

表15 生活創造圏別従業者数

	平成11年		平成14年		
	従業者数(人)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	増減率(%) (14年/11年)
三重県	161,925	100.0	151,966	100.0	6.2
桑名・員弁生活創造圏	16,115	10.0	15,894	10.5	1.4
四日市生活創造圏	37,681	23.3	33,936	22.3	9.9
鈴鹿・亀山生活創造圏	16,458	10.2	16,232	10.7	1.4
伊賀生活創造圏	14,026	8.7	13,523	8.9	3.6
津・久居生活創造圏	26,936	16.6	24,464	16.1	9.2
松阪・紀勢生活創造圏	18,291	11.3	18,406	12.1	0.6
伊勢志摩生活創造圏	24,797	15.3	22,170	14.6	10.6
尾鷲生活創造圏	4,470	2.8	4,196	2.8	6.1
熊野生活創造圏	3,151	1.9	3,145	2.1	0.2

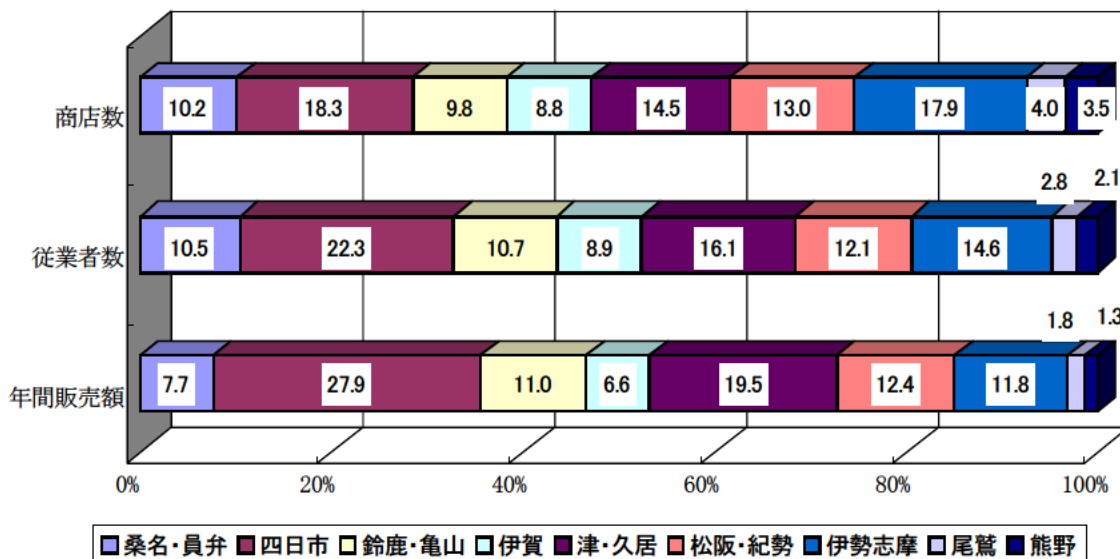
年間販売額は、唯一1兆円を超える四日市生活創造圏が、27.9%で最も多く、次いで津・久居生活創造圏の19.5%、松阪・紀勢生活創造圏の12.4%となりました。

増減率でみると、すべての地域で減少し、津・久居生活創造圏が最も減少しました。(表16、図20)

表16 生活創造圏別年間販売額

	平成11年		平成14年		
	年間販売額 (百万円)	構成比 (%)	年間販売額 (百万円)	構成比 (%)	増減率(%) (14年/11年)
三重県	4,428,882	100.0	3,828,670	100.0	▲ 13.6
桑名・員弁生活創造圏	336,510	7.6	293,465	7.7	▲ 12.8
四日市生活創造圏	1,243,691	28.1	1,069,467	27.9	▲ 14.0
鈴鹿・亀山生活創造圏	388,442	8.8	421,683	11.0	▲ 8.6
伊賀生活創造圏	279,758	6.3	252,569	6.6	▲ 9.7
津・久居生活創造圏	958,168	21.6	747,880	19.5	▲ 21.9
松阪・紀勢生活創造圏	516,657	11.7	472,999	12.4	▲ 8.5
伊勢志摩生活創造圏	558,704	12.6	451,611	11.8	▲ 19.2
尾鷲生活創造圏	86,227	1.9	70,160	1.8	▲ 18.6
熊野生活創造圏	60,724	1.4	48,836	1.3	▲ 19.6

図20 地域別構成比



1商店あたり年間販売額をみると、四日市生活創造圏で最も多く、次いで津・久居生活創造圏、鈴鹿・亀山生活創造圏となりました。

増減率でみると、鈴鹿・亀山生活創造圏で増加した。残りの8地域は減少し、津・久居生活創造圏が最も減少しました。(表17)

表 1 7 生活創造圏別 1 商店あたり年間販売額

	平成 11 年		平成 14 年		
	年間販売額 (百万円)	指 数	年間販売額 (百万円)	指 数	増減率 (%) (14 年 / 11 年)
三重県	160.7	100.0	154.6	100.0	3.8
桑名・員弁生活創造圏	124.5	77.5	116.7	75.5	6.3
四日市生活創造圏	242.2	150.7	235.8	152.5	2.6
鈴鹿・亀山生活創造圏	146.9	91.4	172.9	111.8	17.7
伊賀生活創造圏	115.5	71.9	115.3	74.6	0.2
津・久居生活創造圏	231.9	144.4	208.4	134.8	10.1
松阪・紀勢生活創造圏	150.3	93.6	147.1	95.1	2.1
伊勢志摩生活創造圏	112.0	69.7	101.9	65.9	9.0
尾鷲生活創造圏	75.3	46.9	70.7	45.7	6.1
熊野生活創造圏	63.3	39.4	56.9	36.8	10.1

(指数は三重県全体を 1 0 0 とした場合のそれぞれの比率をあわらす。)

従業者 1 人あたり年間販売額をみると、四日市生活創造圏で最も多く、次いで津・久居生活創造圏、鈴鹿・亀山生活創造圏となり、四日市生活創造圏をはじめ 4 地域が県全体の従業者 1 人あたりの年間販売額を超えています。

増減率でみると、鈴鹿・亀山生活創造圏で増加し、減少した 8 地域の中では熊野生活創造圏が最も減少しました。(表 1 8)

表 1 8 生活創造圏別従業者 1 人あたりの年間販売額

	平成 11 年		平成 14 年		
	年間販売額 (百万円)	指 数	年間販売額 (百万円)	指 数	増減率 (%) (14 年 / 11 年)
三重県	27.4	100.0	25.2	100.0	8.0
桑名・員弁生活創造圏	20.9	76.3	18.5	73.4	11.5
四日市生活創造圏	33.0	120.7	31.5	125.0	4.5
鈴鹿・亀山生活創造圏	23.6	86.3	26.0	103.2	10.2
伊賀生活創造圏	19.9	72.9	18.7	74.2	6.0
津・久居生活創造圏	35.6	130.1	30.6	121.4	14.0
松阪・紀勢生活創造圏	28.2	103.3	25.7	102.0	8.9
伊勢志摩生活創造圏	22.5	82.4	20.4	81.0	9.3
尾鷲生活創造圏	19.3	70.5	16.7	66.3	13.5
熊野生活創造圏	19.3	70.5	15.5	61.5	19.7

(指数は三重県全体を 1 0 0 とした場合のそれぞれの比率をあわらす。)